

Sassor、自社開発のOpenADR 2.0b認証VENソフトウェア「ENES OpenADR Gateway」を提供開始

発表日：2026年9月3日 10時00分

公開URL：<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000044.000028289.html>

電力会社・アグリゲーターのVTNと既存システムをつなぎ、需給調整市場・DRへの対応を支援

株式会社Sassor

■概要

株式会社Sassor（本社：東京都渋谷区、代表取締役：石橋 秀一、以下「当社」）は、自社開発したOpenADR 2.0b認証VENソフトウェア「ENES OpenADR Gateway」の提供を開始します。

ENES OpenADR Gatewayは、電力会社やアグリゲーターなどが運用する上位システム（VTN）と、蓄電池、需要設備、発電設備などの分散型エネルギーリソース（DER）を管理する既存システムをつなぐVENソフトウェアです。OpenADRを利用するデマンドレスポンス（DR）プログラムへの接続に活用でき、需給調整市場の簡易指令システムにも対応可能です。



ENES OpenADR Gateway

ENES OpenADR Gateway ロゴ

本製品は、OpenADR Allianceの認証製品データベースに、OpenADR 2.0b対応のVENとして掲載されています。認証範囲はSimple HTTPのPullおよびPushで、Linuxサーバー上で動作するソフトウェアとして提供します。

- ENES OpenADR Gateway製品ページ: <https://sassor.com/solutions/der-aggregation/openadr-gateway/>
- OpenADR Alliance認証製品ページ: <https://products.openadr.org/product/sassor-inc-openadr-gateway/>

■開発の背景

再生可能エネルギーや蓄電池などの導入拡大に伴い、分散型エネルギーリソースを束ね、電力の需給バランス調整やデマンドレスポンスへ活用する取り組みが広がっています。こうした運用では、上位システムからの指令を正確に受け取り、対象設備へ伝達し、その応答や実績を継続的に管理する通信基盤が必要です。

OpenADRによる接続では、接続先ごとの設定や証明書、ネットワーク、運用条件など、実運用前に整理すべき項目が多くあります。当社は、アグリゲーションプラットフォーム「ENES」の開発・運用で培った知見をもとに、接続試験から運用、障害調査まで一貫して扱えるVENソフトウェアを開発しました。

■ENES OpenADR Gatewayの主な特長

1. OpenADR 2.0b認証を取得したVENソフトウェア

本製品は、OpenADR Allianceの認証製品データベースに、OpenADR 2.0b対応のVENとして掲載されています。認証対象はBプロファイルのVENで、Simple HTTPのPullおよびPushに対応します。

2. 接続先・既存システムに合わせてカスタマイズ可能

OpenADRで受信した指令を共通形式に変換し、設備制御や計測値を扱うシステムとは、標準のHTTP/JSON APIに加え、メッセージキューなど接続先の構成に応じた連携方式にも個別対応できます。接続先ごとの仕様や、既存のエネルギー管理システム、設備構成に合わせて、連携部分をカスタマイズできます。

3. 導入から運用まで支援

接続先に応じた初期設定や接続試験から、運用時の状況確認、障害発生時の切り分けまで支援します。



OpenADR Alliance認証製品ページ掲載画面

■想定する利用シーンと提供範囲

ENES OpenADR Gatewayは、需給調整市場の二次調整力②・三次調整力①・三次調整力②で用いられる簡易指令システムとの接続、容量市場の発動指令電源に向けた簡易指令システムとの接続、既存のエネルギー管理・設備制御システムを活かしたDR対応などに利用できます。電力会社やアグリゲーターのVTNと需要家側システムの接続を支援します。

本製品は、OpenADR 2.0bのVENとしてSimple HTTPのPull／Pushに対応し、Linuxサーバー上で提供します。設備制御や計測値収集は、既存システムとの連携により行います。

導入時には、接続先ごとのVEN／VTN ID、証明書、通信経路、ネットワーク、運用条件を確認し、接続試験と初期設定を支援します。需給調整市場向けと容量市場向けでは簡易指令システムの仕様が一部異なるため、実際の接続可否や試験条件は、対象制度、送配電事業者ごとの仕様、接続環境に基づいて個別に確認します。

■今後の展望

当社は今後、ENES OpenADR GatewayとENESのアグリゲーション運用基盤との連携を強化し、蓄電池、需要設備、EV、再生可能エネルギー設備など、多様な分散型エネルギーリソースの活用を支援してまいります。

■株式会社Sassorについて

Sassorは、AIによるエネルギーリソースの最適制御技術を核に、アグリゲーションプラットフォーム「ENES」の開発・提供を行っています。「ENES」は、蓄電池等の分散型エネルギーリソース（DER）を最適に制御することで、卸電力市場や需給調整市場における収益創出から、需要家様の電気料金削減（ピークカット）さらには事業継続計画（BCP）まで、多様な価値を創出します。また、電力情報サイト「グリッド研究所」を通じて、電力系統情報などのデータ提供も行っています。今後も、蓄電池を活用した収益性向上や再生可能エネルギーの普及を支援する技術提供を通じ、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

【Sassor会社概要】

会社名：株式会社Sassor (サッソー)

代表取締役：石橋 秀一（いしばし しゅういち）

設立：2010年9月30日

所在地：東京都渋谷区桜丘町 4-17

URL：<https://www.sassor.com>

事業内容：AIを活用した電力アグリゲーションサービスの開発・提供

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社Sassor (サッソー)

担当：矢嶋

お問合せ先（E-mail）：sales@sassor.com